

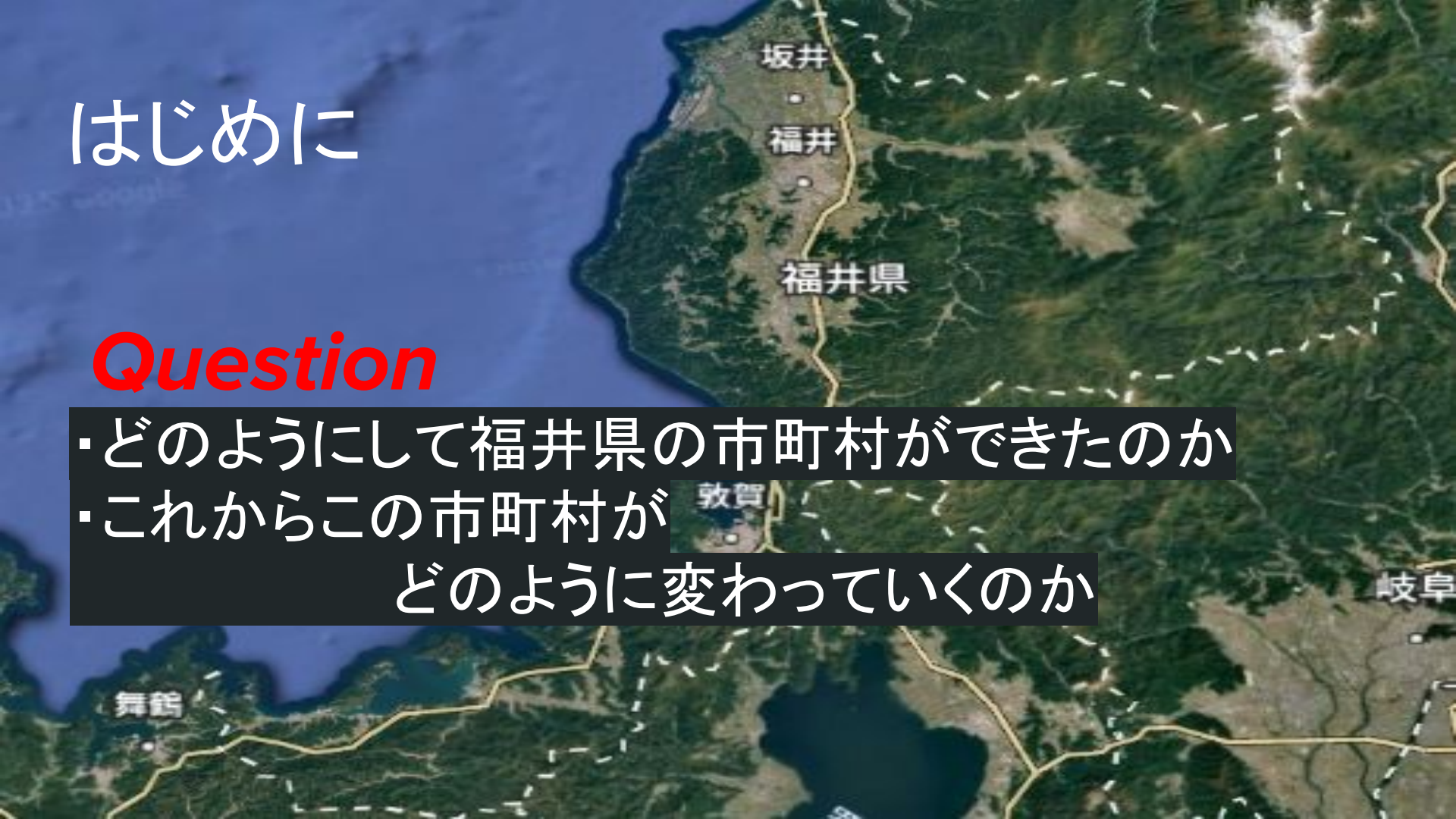
福井県の市境予想

武生高校

はじめに

Question

- ・どのようにして福井県の市町村ができたのか
- ・これからこの市町村が
どのように変わっていくのか



背景

background

川や山の尾根などの
自然環境以外の境が
どのようにしてできた
のか気になったから

目的

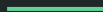
porpuse

福井県内で市町村合併が起きた際、課題解決の一助になること。

先行研究

previous research

先行研究から
過去の市町村合併
に関する情報をまとめる



先行研究からわかったこと

平成の合併は分権化に伴う統治機構の改革として集積利益に期待して統合合併によって行財政基盤の確立を目的とした

今後全国的に老朽化した社会資本の整備が問題となる
財政危機に加えて人口減少と過疎化の進む地域でどのように住民の生産・生活の基盤としての社会資本を整備するかが緊急の課題である。

先行研究からわかったこと

市町村合併ではよくメリット注目されがちであるが、デメリットも数多く存在している。

メリット

広域的なサービス供給，効率的な社会資本整備，行政のスリム化大規模事業の展開，専門職員の確保，地域のイメージアップ

デメリット

旧来のコミュニティ崩壊，政治的代表度の低下，都心部と周辺部の政治的対立激化および地域間格差拡大，住民の多様なニーズへの不十分な対応，合併後の名称や庁舎の位置問題，特例措置終了後の地方交付税の減少

問い

research question

市町村合併によって
どのような市町村が
できるだろうか？

検証方法

research method

1: 過去の合併から合併の特徴を捉える

2: 合併の要素ごとに地図に表し課題を明確化する

3: 課題解決ができるように合併案を作る

福井県の市町村合併の例

合併例

・2005年 丹生郡朝日町
＋宮崎村＋越前町＋織田町



朝日村＋宮崎村
＋（四ヶ浦村＋城崎村）＋織田村

現在の
＝ 越前町

現代の
村とは？



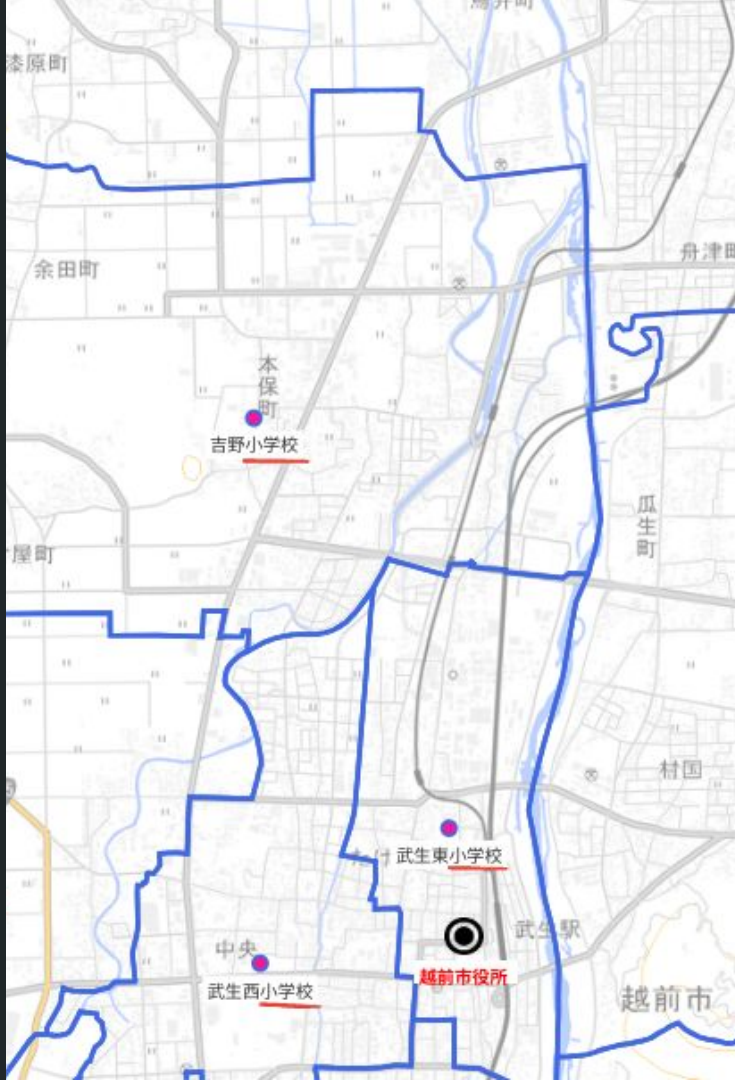
1909年の鯖江、越前市の区割り



ほぼ一致

村の区割り

+現代のある地図



昔の村と現代の小学校区がほぼ同じ範囲



市町村合併は
小学校区を基盤として
行われた

市町村合併に必要と考えるデータ

- ・労働力
- ・財政
- ・小学校区
- ・交通
- ・地理的要因

地図制作に
あたって⇒

それぞれの要素で問題点を定義し、
今の形態での課題を地図上で明確化する

地図の組み合わせ

1, 財政×交通

お金がないと道路などの整備は不可能

2, 労働力×財政

働き手がいないとお金は生み出せない

3, 交通×地理的要因

地理的に厳しいと道路整備が困難

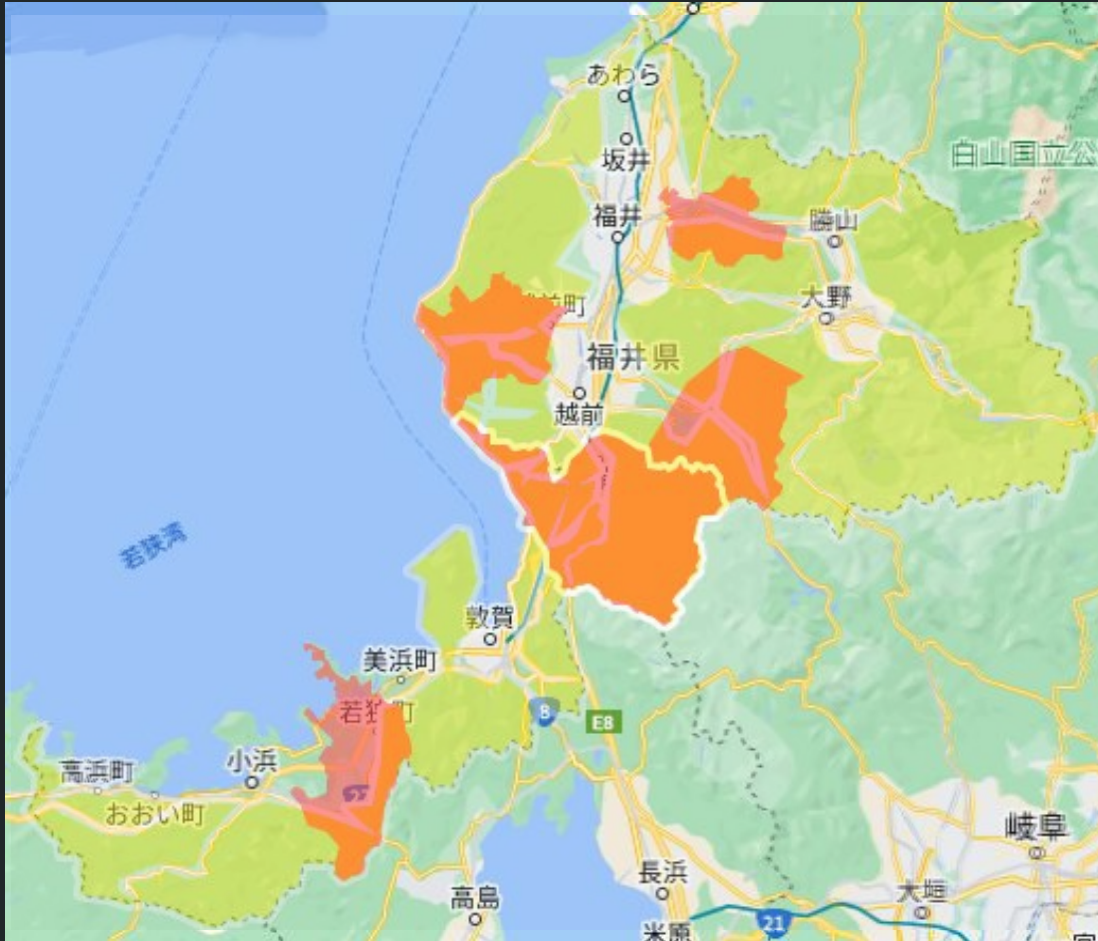
4, 小学校区×交通

交通網がないと児童の登校は困難

交通×財政地図

・交通は**黄色**
高速道路、鉄道
国道の通ってない地域

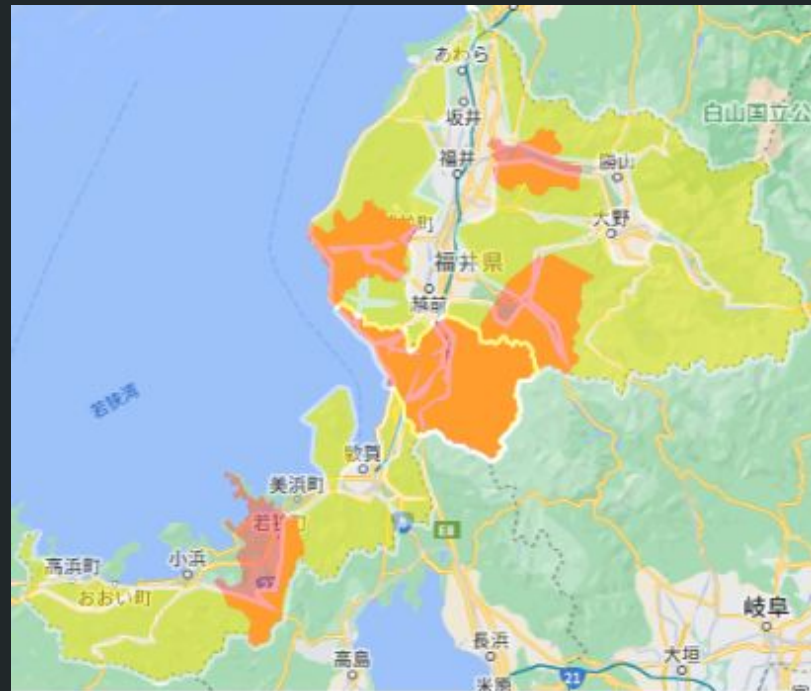
・財政は**赤色**
財政力指数
0.4未満の市町村
(福井県全体は0.4)



地図から読み取れること、考察

- ・南越前町、越前町、池田町が財政、交通でかなり危機的
⇒財政基盤が貧弱なので交通の整備が不可能

- ・若狭町は嶺南で唯一財政力指数0.4以下
⇒唯一原発がないから



地図の組み合わせ

1, 財政×交通

お金がないと道路などの整備は不可能

2, 労働力×財政

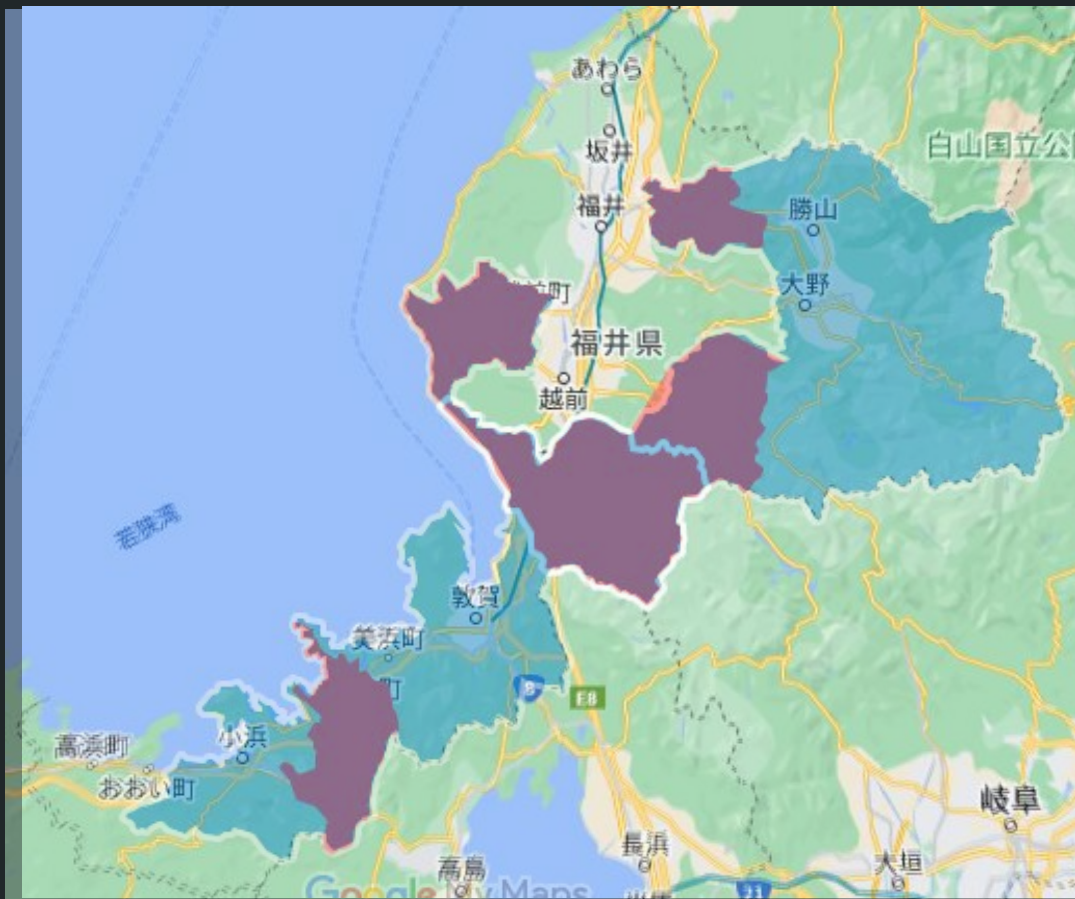
働き手がいないとお金は生み出せない

3, 交通×地理的要因

地理的に厳しいと道路整備が困難

4, 小学校区×交通

交通網がないと児童の登校は困難



労働力×財政

・労働力は**水色**

労働力率

64,7%未満の市町村
(福井県全体は64,7%)

・財政は**赤色**

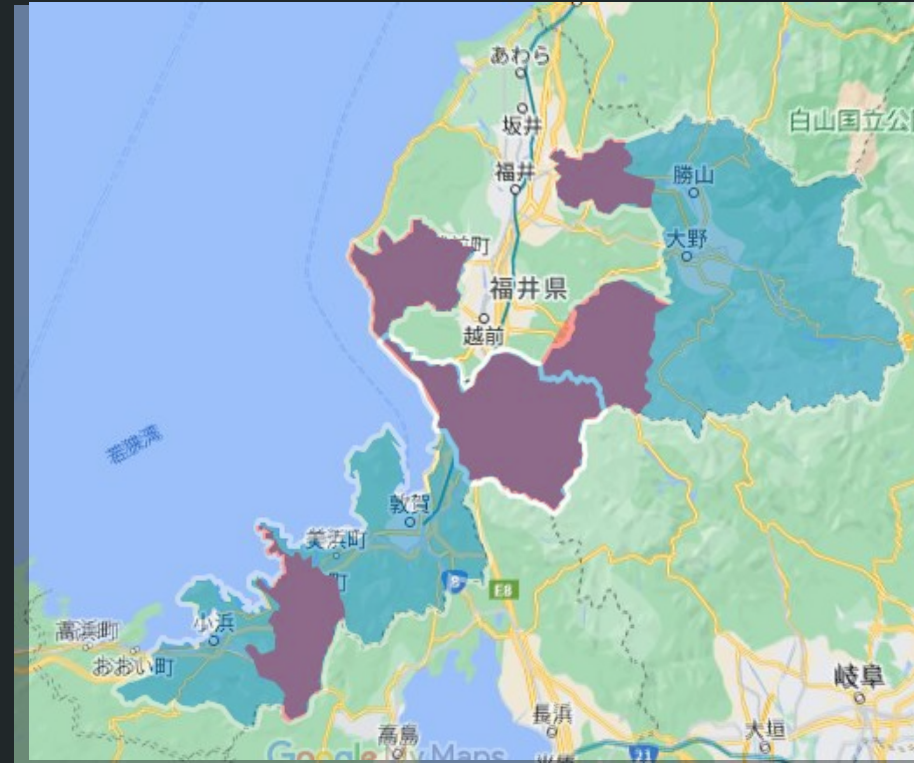
財政力指数

0.4未満の市町村
(福井県全体は0.4)

地図から読み取れること、考察

- ・永平寺町、池田町、越前町、南越前町、若狭町は労働力と財政の両方が危機的

- ・嶺南は財政は豊かだが、労働力に問題がある
⇒労働による財政の安定化は
かなり厳しい



地図の組み合わせ

1, 財政×交通

お金がないと道路などの整備は不可能

2, 労働力×財政

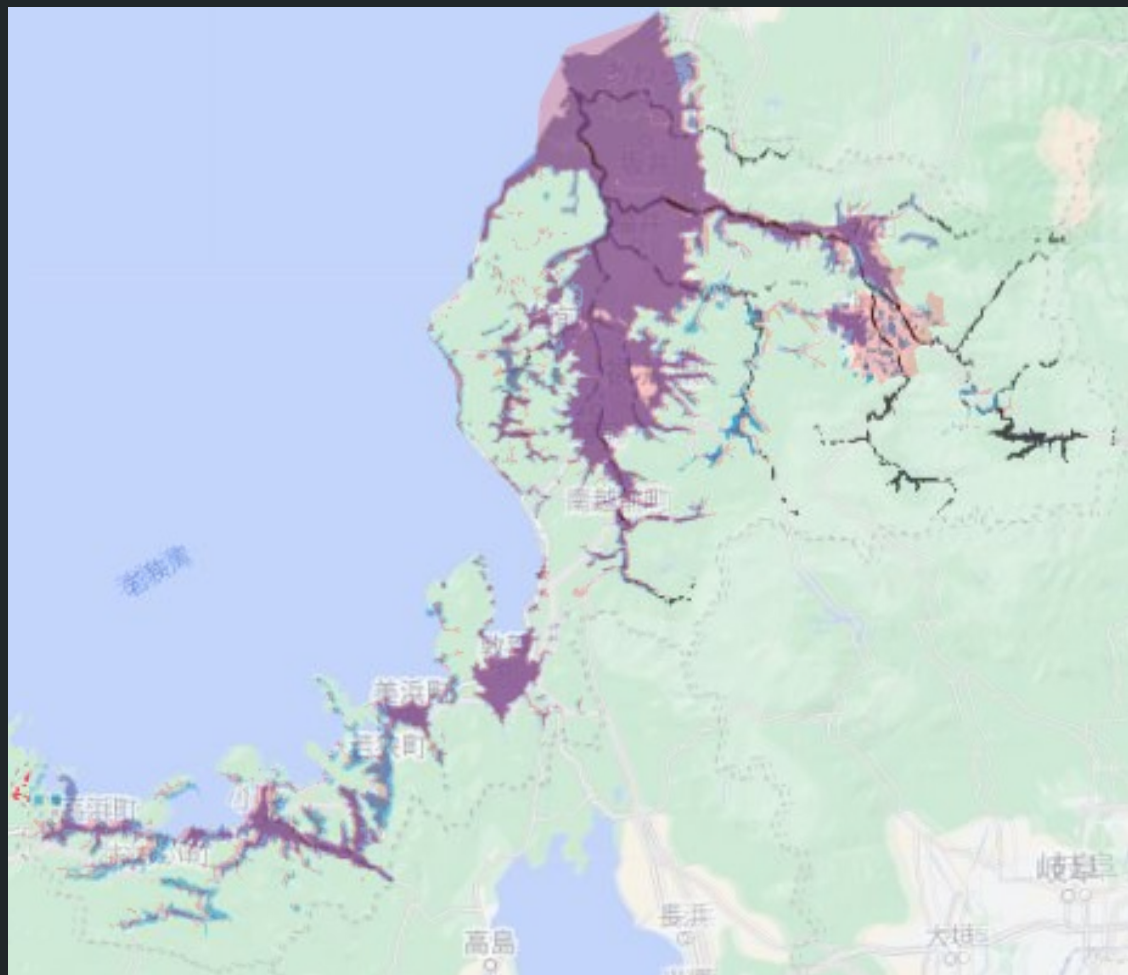
働き手がいないとお金は生み出せない

3, 交通×地理的要因

地理的に厳しいと道路整備が困難

4, 小学校区×交通

交通網がないと児童の登校は困難



地理的要因地図

自然地図

(居住区地図×水地図)

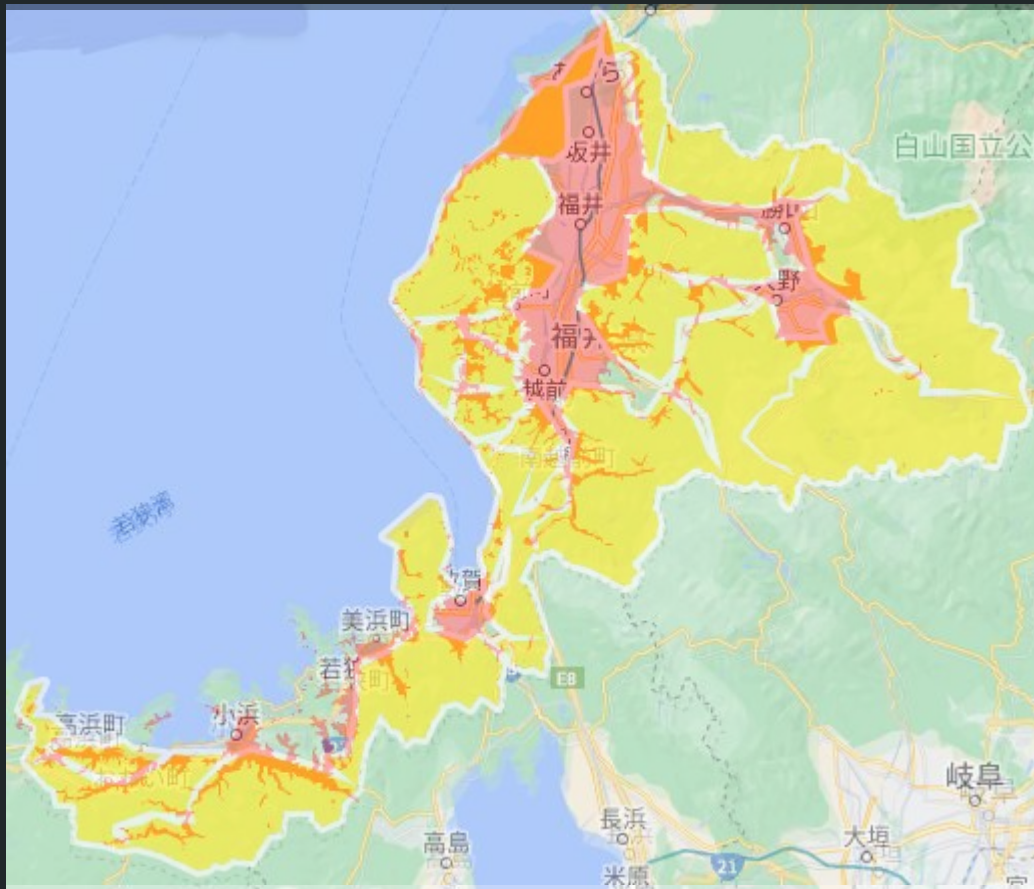
周辺に家が最低3軒以上確認できる地域を人が住んでいると定義、そこを赤色で表示

一級河川を黒色で、自然と密接的な関係にある水道の上水整備供給地域を青色で簡易水道供給地域、飲料水供給地域、専用水道供給地域を水色で表示

地図から読み取れること、考察

- ・大多数の人は一級河川沿いか海岸沿いに多く住んでいる
⇒食料のため(作物の生産に必要な水の確保、漁のため)
川や海の浸食、堆積でできた平らな土地だから
- ・上の考察が成り立つなら、ほとんどの居住区以外の土地は山や高地ということになる



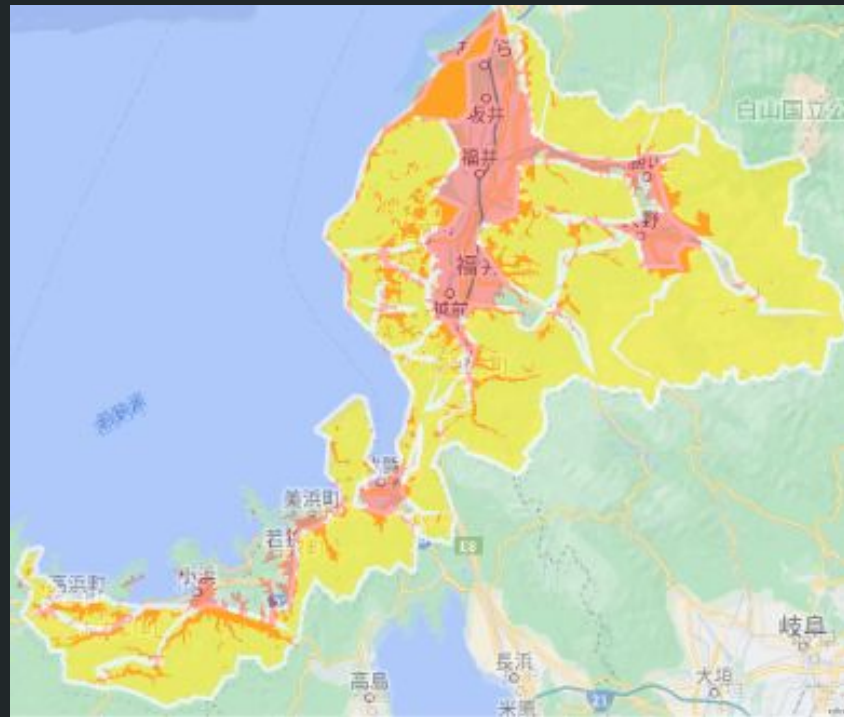


交通×地理的要因

- ・地理的要因は**赤色**
人が住んでいる地域
- ・交通は**黄色**
高速道路、鉄道
国道の通ってない地域

地図から読み取れること、考察

- ・山間部で整備がされているところの周辺部に人が住んでいる
- ・人も多くない、交通もあまり充実していない**大野市**、**勝山市**、**南越前町**など山間部の開発が厳しい



地図の組み合わせ

1, 財政×交通

お金がないと道路などの整備は不可能

2, 労働力×財政

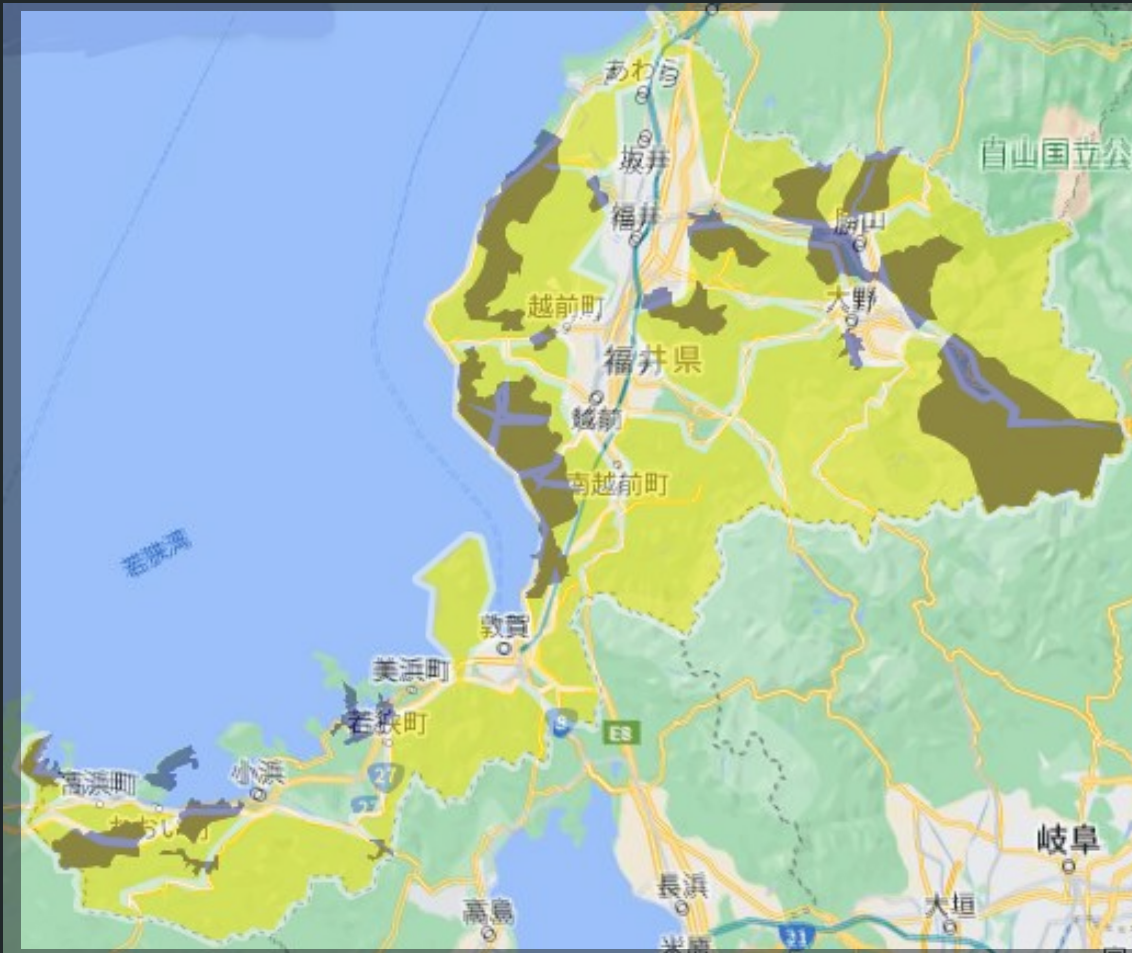
働き手がいなくとも金は生み出せない

3, 交通×地理的要因

地理的に厳しいと道路整備が困難

4, 小学校×交通

交通網がないと児童の登校は困難

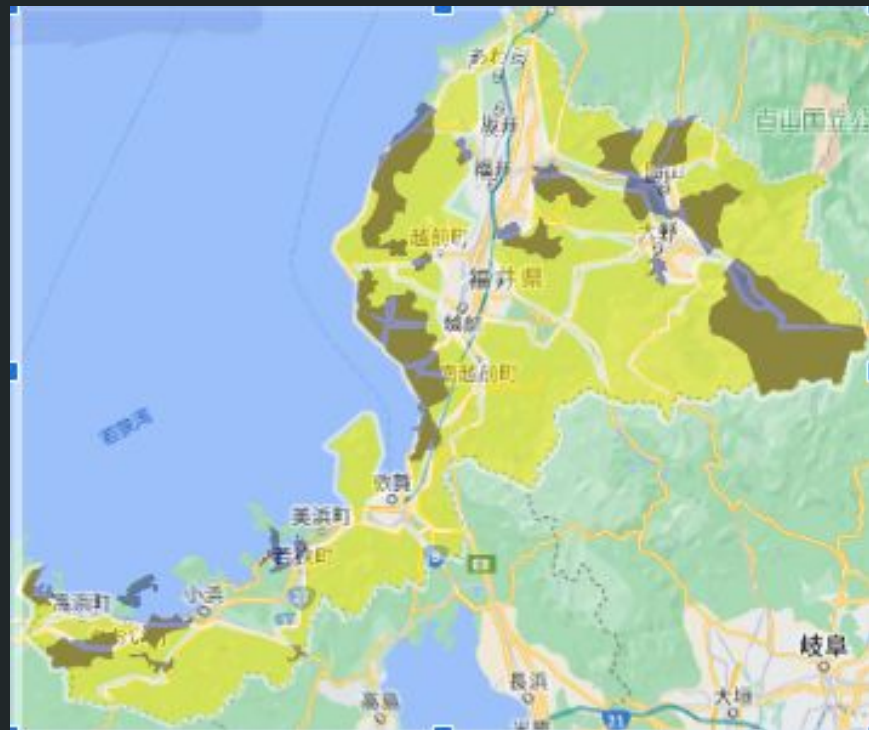


・小学校区は青色
複式学級
(2つ以上の学年を1
つにした学級)
のある小学校

・交通は黄色
高速道路、鉄道、国道の
通っていない地域

地図から読み取れること、考察

- **越前町、南越前町**は交通、小学校の両方に問題がある
 - その他のところは交通網がある程度整備されているが、小学校に問題がある
- ⇒ 小学生の人数が少ない



結果と考察

results and consideration

地図の組合せをもとに、合併案を提示して

その合併案でのメリットとデメリットを考察する

合併したときの前提条件

- ・合併したときに政府からの**資金援助**がある
(合併から最大10年普通交付税を保障)
- ・災害など急激な**財政、環境の悪化**は考えないものとする。

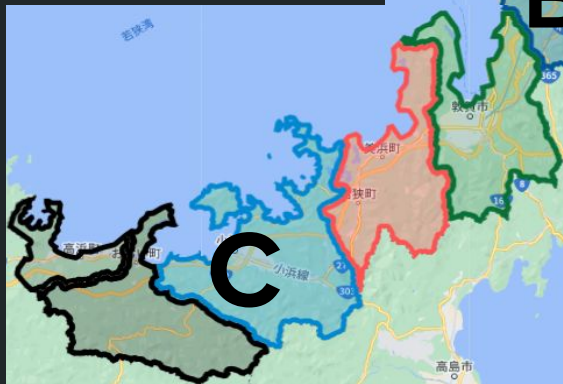
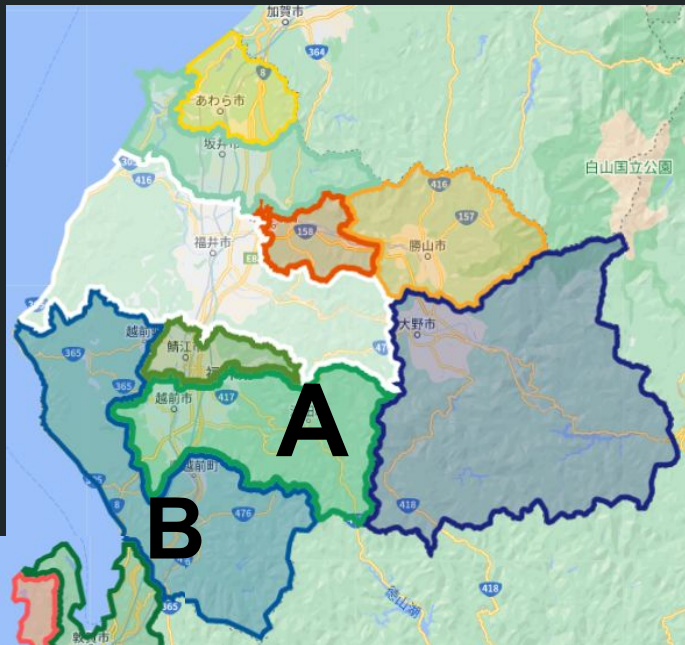
合併案

A越前府中市

B大越町

C若狭小浜市

(名称はchatgptなので名称批判
は一切受け付けません)





越前府中市

人口 約82000人

面積 約280平方km

合併地域

池田町、越前市

(白山、坂口地区を除く)

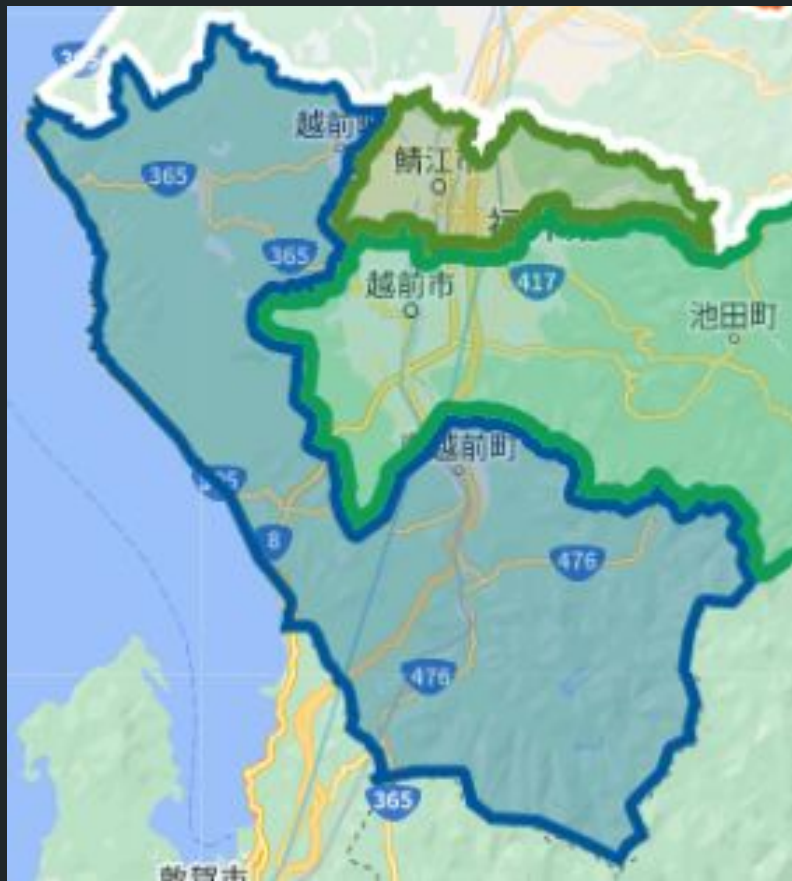
現状の課題 池田町の交通網の充実、若年人口の増加

メリット

- ・越前市の財政力が安定しているので、財政に心配はない
- ・国道417号を中心とした交通網整備

デメリット

- ・人口推移の変化はあまり無い可能性有
- ・池田町の開発は地理的に困難



大越町

人口 約31000人

面積 約550平方km

合併地域

越前町、南越前町、
越前市白山、坂口地区

現状の課題 財政、観光資源、交通網の充実

メリット

- ・県道3号を中心とした交通網の整備
- ・小学校の統合による教育環境の充実
- ・インフラ、交通網による格差の是正

デメリット

- ・観光資源に町の財政が依存してしまう可能性有
- ・小学校の統合、交通網整備のための時間がかかる



若狭小浜市

人口 約34000人

面積 約339平方km

合併地区

小浜市、若狭町

現在の課題 財政、観光資源の充実、若年人口の増加

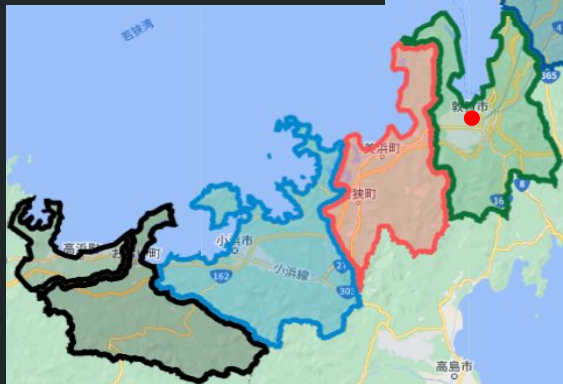
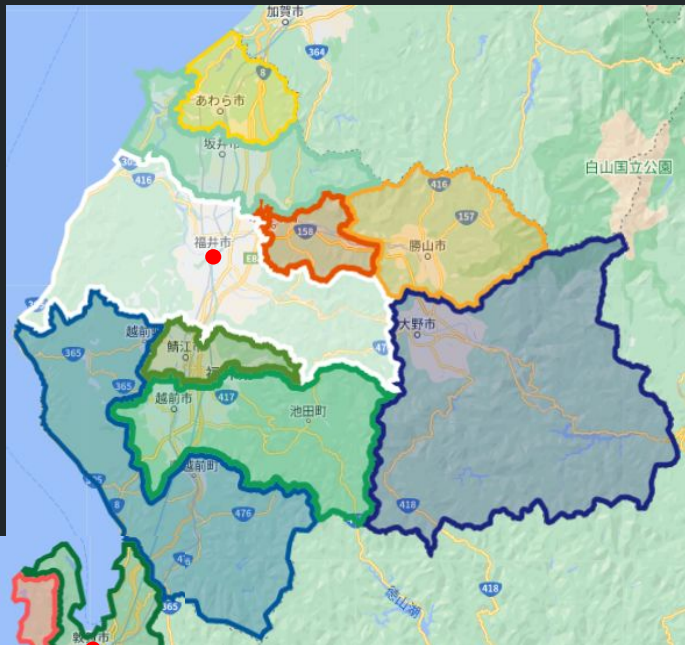
メリット

- ・小学校統合による
教育環境の充実
- ・湖西（京都、大阪）への
交通網の強化

デメリット

- ・資金と交通網整備の時間がかかる
- ・山が入り組んでいるので、交通アクセスが良くない

最後に



私達のは一つの案でしかない

和泉の岐阜県譲渡

敦賀への県庁移転

嶺南の滋賀復県 etc...

我らが福井県に
ついて
考えてみよう！